

## 相補的医療 III シネジズム

### ジム・プリンクレイ

シネジズム(相助効果)は医療で頻繁に使われる用語です。二つの薬(または治療)に相助効果があると、協力して作用するだけではなく、組み合わせられた効果は個々の効果の和から予想されるよりも大きいのです。なぜか其々が他の力を高めます。近代西洋の身体的癒しが、アロハ・インターナショナルで教授されているフナのような、伝統的な医療技術と組み合わせられると、同様な効果が表われます。

カヒリ家の伝統であるフナの第三原則<sup>訳注1</sup>から推論されるのは、「全てはエネルギーである」です。もし全てがエネルギーならば、すべて新しいものはエネルギーによって生まれます。エネルギーを体験として形成するのが意識です。第一原則「世界はあなたが考えたとおりである」は、全てが物理的な現実が存在する前に思考の中に存在しているのを明らかにします。最も焦点が定められ(集中した)、最も継続され(繰り返される)、最も感情的を伴う思考は、言語、イメージ、動作によって補強されたのと同様、物理的に表出しやすいです。

物理的に印象がとても強いものは、作り出すのに多くの思考が必要だったと簡単に想像できるでしょう。理論的には、シャーマンの師匠、ある場合によってはほとんど誰でも、たった一つの考えで印象的な物理的現実を創造(あるいは破壊)出来ます。実際には、この事を学んでいる人はとても稀です。私たちの経験の他の分野と同様、健康と病気においてもこの考え方は応用されます。

病気(dis-ease;くつろいでいない)は緊張の結果で、ストレスへの抵抗です。ストレスは、身体的、感情的、精神的、あるいは霊的であれ、生活にはつきものです。しかしながらストレスは、弛緩へとたいいてい移行します。抵抗によってこの循環が阻まれると、緊張が、結果的には病気を生じます。抵抗はほとんどいつも恐れや怒り、あるいはどちらかの変形である不安、不信、憎しみまたは罪悪感、に因ります。

ストレスへの抵抗は私たちの無意識であるク(ku)によって制御されています。無意識な思考が意識的思考と連携(同調)しているならば、明らかな身体的な表出が結果として生じます。連携した思考の性質によって肯定的であったり、否定的であったりします。私たちは考えているものを手にします。病気になるのは、無意識が抵抗とその隠れた原因について警告しているからです。そのメッセージを無視すると、私たちの無意識は繰り返し、そしてより激しく警告するでしょう。

腹の痛みのように比較的軽い病気ならば、たいして考えてはいない事がそれを起こしているから見なすことが出来ます。ですからたいして考えなくても解決出来ます。ピコ・ピコ(piko-piko)<sup>訳注2</sup>やカヒ(kahi)<sup>訳注3</sup>のような簡単な技術でたいいていはうまくいきます。(これらが何か分からない方は、他の多くのシャーマンによる癒しの技術と一緒に

このホームページのワークショップの頁に載っている様々なコースで教えてくれます。)この時点で抵抗を解き放つ様為に行動しないと、私たちの無意識は抵抗を続け、もっと強烈なメッセージを送るでしょう。

胃腸系に痛みを感じる風邪などのもっと深刻な病気は、もっと集中した、長期間の感情的、あるいは/そして強化された思考の結果でしょう。たいてい、より集中した、より長期でより感情的な、あるいは/またより強化された思考がくつろぎ(健康)を取り戻すのに必要でしょう。もっと上級のシャーマンの癒しの技術が求められるでしょう。しかし、不慣れな方にはこれらの技術を気分が悪い時に用いるのは困難でしょう。さらに、実戦の経験が浅い方には望むような結果を生むのに十分な自信を持ち得ないでしょう。第六原則を思い出してください。「全ての力は内から出る。」そしてその別な言い回しである、「自信がある時には、技術がある。」

この時点で、いくつかの身体的な癒しの方法も用いるのが賢明でしょう。身体、またはハープ・ヒーラーである kahuna lapa'au や今日同等である医師は、効く薬を処方することができるでしょう。投薬が身体に作用する時には無意識にある印象を植え付けて、抵抗を止めさせ、身体が自ら癒すのを許すでしょう。ところで、ハワイ医科大学は卒業生に医師の資格(M.D.)と kahuna lapa'au の両方を与えます。

もしこのレベルで抵抗が解除されないと、無意識はその思考過程を継続させ、結果的にはより重症な疾患(例えば胃潰瘍や癌さえ)をもたらすでしょう。これらの病気も考え方で癒されることが出来るのですが、この様な方法で癒しが表われる為には、まだ少数の人しか不可欠な自信、自己尊重、自己愛を持ち、恐れや怒りから自由になっていません。アロハ・インターナショナルのあるアラカイ(alaka'i;霊的な導き手)は実際、フナの思考による技術を用いて、重い慢性疾患を自分自身で治しました。しかし彼女くらいの技術と自信に達するまでは、癒しの技術をいくつか組み合わせる必要があります。この時点では、無意識に抵抗を取り除かせるには、思考パターンを変える必要と自由がより印象的になるような身体的な癒し(例えば外科手術)さえ必要になるでしょう。

つまり、強力な身体的な表出はたとえ最初思考によってもたらされたとしても、それを取り除くには強烈な身体的な技術が求められます。たった一つの思考ででもそれが出来ます。もしその思考が非常にハイレベルの覚醒、自由度、集中力、愛、自信そして知恵を有する誰かの力によって増強されるならば。しかし我々の多くは、新しい公園を頭の中で創り出すよりも、少量のダイナマイトで古い建物を吹き飛ばす方が容易です。私たちは雲に姿を変えてカウアイに飛んでいけるのですが、飛行機に乗るほうが簡単だと我々多くは知っているのです。

第七原則である、効力は真実の尺度は効果があるものを用いるのを教えます。全ての質の高い癒し手は、身体的、感情的、精神的、霊的、または組み合わせさったものであれ、最初は最も攻撃的でない、危険でない癒しの方法を学びます。病気が生じたならば、あなたが一番安心できる方法を何でも用いてみてください。一定期間に望むような結果が出ないならば、他の方法を加えるのも検討してください。四つのレベル全てで同時に

癒すのを怖がらないでください。(物理的な)分離している現実、(感情的に)関係付けられた現実、(精神的に)投影された現実、(霊的に)全体的である現実が相補的です。それらは一緒に働きただけではなく、結果的な効果は其々の効果の和よりも大きいのです。

訳注 1 フナの七原則とは；

- 第一原則：世界はあなたが考える様にある。
- 第二原則：限りというものはない。
- 第三原則：エネルギーは注意が向く方へ流れる。
- 第四原則：今が力の時である。
- 第五原則：愛は共に幸せに生きること。
- 第六原則：全ての力は内から出る。
- 第七原則：効力は真実の尺度である。

訳注 2 ピコ・ピコとは、頭のとっぺんや臍などの身体の部位間で息を吸ったり、吐いたりすること。

訳注 3 ここでのカヒは、身体の二点に触れてピコピコを行う方法です。

翻訳 M. Hayashi (2005)

Copyright by Aloha International 2001